

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">声乐</p>	<p>対象学科・学年 教育教福2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">福本裕喜子</p>
<p>授業テーマ 楽な発声法—美しい声を求めて</p>		
<p>授業の概要と目標 童謡、歌曲、ポピュラーソング等いろいろな歌を歌い、楽譜から汲み取った感動を、自らの声で豊かに表現できるよう、無理のない楽な発声を体で覚えましょう。 世の中のすてきな事に感動できる豊かな感性を養う手段として、歌の心を考え、それを声に出して表せるようにしたい。 年度末には皆で音楽会を立ち上げましょう。</p>		
<p>評価方法 前期ハコンコーネで、後期は歌曲の歌唱テストで評価します。</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">コンコーネ50番 中声用</p>	<p>著者 畑中 良輔</p>	<p>出版社 全音楽譜出版</p>
<p>参考書 歌曲は適宜プリントを配布します</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>* 毎回発声練習を行い、練習曲としてコンコーネを一曲ずつ順番に歌います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 声楽的な美声とは？（発声に関する基本的な考え方） 2. よく知っている童謡、唱歌、歌曲を通して Legato, Staccato, Marcato etc.様々な 歌い方のテクニックの会得に努めます。 希望があればポピュラーソングも歌ってみたい。 14. 15. 前期テスト（コンコーネより任意の曲を一曲唱う） 16. 前期に引き続き一層のテクニック習得に努めつつ文部省唱歌（おぼろ月夜 冬景色 茶摘み 等）日本歌曲（浜辺の歌 この道 むこうむこう 等）外国の名曲（子守歌 野ばら 等）いろいろな歌を歌いながら自分にあった曲をみつけていきます。 23. 24. 後期テスト兼発表会のための曲目決定とその練習。 全員で分担して音楽会を立ち上げるための作業。（プログラム作り 司会のための 29. 資料集め 他) 30.発表会（兼 テスト） <p>適宜20世紀の名歌手たちの演奏をLD ビデオなどで鑑賞し自己の技術向上に役立てるとともに声による感動を体得したい。</p>		